

学校教育目標「夢と希望をもち、心豊かにたくましく生きる子供を育てる。」



ポプラ

石巻市立和湊小学校

令和5年9月29日号

【賢く】(知)【美しく】(徳)【強く】(体)

子供たちの健全な成長のため「はやね・はやおき・あさごはん」「徒歩・自転車通学」を励行しましょう。

<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/school/20303200>

「あいさつの大切さ」

校長 松川 忠孝

学校の1階の東階段前に、

あ・あかるく い・いつも さ・さわやかに つ・つづけよう

という、言葉が掲示されています。この言葉は、和湊小学校が
目指している「あいさつ」です。先日、秋の交通安全週間で、街
頭指導をしているときに地域の方から、「子供たち、元気にあい
つしてくれるので気持ちがいいですね。」や「子供たちのあいさつで
パワーをもらっています。」と言われ、とてもうれしく思いました。
でも、朝、子供たち一人一人の様子を見ていると、「元気にあいさ
つする子」「立ち止まってしっかりあいさつする子」「小さい声であいさつする子」「声を掛けるとあいさつする子」様々
でした。学校内では、しっかり「あいさつ」を頑張っている子供たちですが、家庭では、地域では、しっかり「あいさ
つ」をしているのかなあと、ちょっと思ってしまいました。学校で、しっかり「あいさつ」ができて、家庭や地域で
できていなければ、子供たちにとって形だけのあいさつになってしまうからです。



「あいさつ」は、とても短い言葉ですが、子供の世界でも大人の世界でも、親しみが湧き、相手との距離を縮めるこ
とができます。また、よい人間関係を築く大切な役割を持っています。そして何より、一生の財産になります。

そこで、保護者の方や地域の方にお願ひがあります。それは、今よりも、もう少しだけ「あいさつ」を意識して子供
たちに接してほしいということです。学校でもこれまで以上に意識して指導していきますが、家庭や地域の方々のお
力も必要です。学校、家庭、地域が力を合わせて「あいさつ」ができる子供たちを育てていけば、子供たちの「あいさ
つ」は、今まで以上にどんどん良くなっていきます。ぜひ、お力をお貸しいただければと思います

以下に、「家庭でできるあいさつの習慣化」というものを載せておきましたので参考にしていただければ幸いです。

- 1 元気に爽やかなあいさつを家庭内で日常化させる。
 - ・おはよう おはよう ・いってきます いってらっしゃい
 - ・ただいま おかえり ・いただきます どうぞおいしいよ ごちそうさま
 - ・おやすみなさい おやすみ 等
- 2 あいさつが上手にできたら、その場でほめる。
- 3 「ありがとう」や「ごめんなさい」の大切さもひとまとまりに伝える。
- 4 「あいさつできる機会」を作ってあげる「できない時は」促してあげる。

いつも、お願ひばかりで、申し訳ございませんがよろしくお願ひいたします。

これからも、「あ・あかるく い・いつも さ・さわやかに つ・つづけよう」を目指して全職員、全力で取り組ん
でいきます。

学習発表会のお知らせ

令和5年10月14日(土)は、学習発表会です。学習発表会後には開校150周年記念の写真撮影を行います。
詳細は9月22日発行のお便りでご確認ください。

第2学期始業式

令和5年8月28日（月）第2学期始業式が行われました。

校長先生から「夏休み前に校長先生と約束をした命を大切にすること」についてお話がありました。

1年生、3年生、5年生の代表児童が、夏休み思い出や2学期の抱負を堂々と発表しました。



PTA奉仕作業

令和5年9月2日（土）PTA奉仕作業が行われました。今年は、校舎前の側溝の清掃を行いました。早朝からたくさんの方に参加いただきました。準備した土のう150枚はあっという間にいっぱいになりました。ご協力ありがとうございました。



地震想定避難訓練

令和5年9月6日（水）業間に地震想定避難訓練が行われました。

今回の地震の想定は休み時間です。子供たちは避難訓練があることを知りません。休み時間を各々が過ごしています。担任の先生も様々な場所にいます。それでも子供たちは地震発生の合図で自分の身を守ることができました。

その後、子供たちは教室で担任の先生と避難訓練について振り返り、命を守ることに改めて考えていました。

この日は、石巻市教育委員会から訓練の様子を視察に来ました。子供たちが無言で避難する様子に感心していました。



花壇の草取り

令和5年9月13日（水）花壇の草取りを行いました。秋の花を植えるために、一度花壇をきれいにならします。植栽が終えたら、ぜひ学校に足を運び、見に来ていただければと思います。

コミュニティ・スクール学校運営委員の方もお手伝いに来ていただき、作業をしながら子供たちと触れ合い、短い時間でしたが、楽しい時を過ごされたようです。



